

(第1号様式)

# 記入例

## 農業経営改善計画認定申請書

携帯電話番号も記入ください。

提出日を記入ください。

令和 年 月 日

○ 南九州市長 殿
鹿児島県知事 殿
九州農政局長 殿
農林水産大臣 殿

申請者	住所	南九州市穎娃町牧之内12345番地		連絡先	0993-36-1234 090-1111-2222
	フリガナ	ノウセイ タロウ	フリガナ		
	個人・法人名	農政 太郎		代表者氏名 (法人のみ)	
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和48年11月17日		法人番号	

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画					
① 農業経営	お茶は工芸作物に <input checked="" type="checkbox"/> 標		複合経営は販売金額1位の作物が、総販売額の80%に満たないもの。		
(1) 営農類型	現状		目標 (令和13年)		
	<input type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input checked="" type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input checked="" type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物 ( )		<input type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 複合経営 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物 ( ) <input type="checkbox"/> 酪農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養豚 <input type="checkbox"/> 養鶏 <input type="checkbox"/> 養蚕		
	<input type="checkbox"/> 養鶏 <input type="checkbox"/> 養蚕		<input type="checkbox"/> 複合経営 <b>3枚目の(参考)経営の構成から転記</b>		
個人⇒青色申告決算書及び白色収支内訳書の専従者給与控除前の額 法人⇒損益計算書の税引前当期純利益(損失)+役員報酬額	に関する目標 現状    目標 (令和12年)		3枚目の(参考)経営の構成から転記 主たる従事者のみの労働時間合計3		
年間所得	300万円	420万円	年間労働時間	6、240時間	5、400時間
主たる従事者1人当たりの年間所得	100万円	140万円	2,000時間以内を目標設定	2、080時間	1、800時間
			主たる従事者の人数		3人

② 農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

生産量÷作付け面積＝単位面積当たり収量が適正であるか確認ください。

(1) 生産					(2) 農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業（売上げ）				
作目・部門名 (耕種)	現 状		目標（令和13年）		作目・部門名 (畜産)	現 状		目標（令和12年）	
	作付け面積 (a)	生産量	作付け面積 (a)	生産量		内容	現 状	目標（令和12年）	
茶	250	37,500kg	400	60,000kg				万円	万円
施設ピーマン	30 (h20)	40,000kg	45 (h30)	60,000kg				万円	万円
甘しょ（澱粉用）	50	15,000kg	—	—				万円	万円
甘しょ（青果用）	—	—	50	10,000kg				万円	万円
								万円	万円
								万円	万円
								万円	万円
								万円	万円
	330		495					万円	万円

生産量÷作付け面積＝単位面積当たり収量が適正であるか確認ください。

甘しょの場合は青果用、焼耐用、澱粉用の用途を記入してください。

(3) 農用地及び農業生産施設

ア 農用地					イ 農業生産施設								
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目標（令和12年） (a)	種 別	所在地		規 模				
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状 棟	目標（令和13年） 棟	現 状 m <sup>2</sup>	目標（令和13年） m <sup>2</sup>	
所有地	鹿児島	南九州市	畑	280	445	格納庫	鹿児島	南九州市	1	100	1	150	
				整合性	整合性	ハウス	鹿児島	南九州市	2	2,000	3	3,000	
借入地	鹿児島	南九州市	畑	50	50								
その他													
経営面積合計				330	495	経営面積合計				3	2,100	4	3,150

<p>③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置</p>	<p>④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置</p>
<p>現状：圃場の分散により非効率である。 10～20a区画が中心である。 圃場が6ヶ所に分散して、最大移動距離10kmである。 トラクター等で主作業を行っている。 長年の経験と勘による作業</p> <p>目標：農地の集積・集約化を進めることで団地の形成を行う。 高性能機械の導入により、作業の時間短縮・効率化を行う。 施肥方式の省力化 農地中間管理機構を利用した規模拡大及び農地の集約化</p>	<p>現状：簿記記帳をしていないので経営状態が把握できていない。（白色申告） 単式簿記による記帳を行っている。 手書きでの経理を行っている。 販売価格の低迷により所得率が低迷している。</p> <p>目標：複式簿記をパソコンで行い、記帳結果を経営に生かす。（青色申告） 妻に経営管理の役割を担ってもらおう。 経営関係の研修会に積極的に参加する。 将来的には法人化を目指す。 パソコンで経営内容や作業内容の管理分析を行う。</p>
<p>⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置</p>	<p>⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置</p>
<p>現状：不定休で特に休日を設けていない。 仕事の忙しい時期などの休みが取れない。 後継者が育成できていない。</p> <p>目標：休日制度を導入する。 作業分散による労力の平準化を図る。 常時（臨時）雇用者を確保し、労働環境の整備を行う。 世代交代も視野に入れ家族経営・経営継承を行う。 息子への相続や農業経営の技術継承 アルバイト等による人材確保や育成</p>	<p>現状：農業機械設備の老朽化している。 基腐病により収量が低下し、販売額も落ち込んでいる。 茶園の老齢化により、収量が低下している。</p> <p>目標：低金利の農業制度資金や補助金を活用し、農業機械の更新や新規導入を行う。 各種研修会へ参加し栽培技術、経営管理の向上に努める。 新品種に導入による販売額向上を図る。 農業機械の有効活用による作業受託の拡大を図る。 新規作物への転換を図る。</p>

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇 用 者					
氏 名 (法人経営にあつては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあつて は役職)	現 状			見 通 し (令和12年)			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	0 人	見 通 し	0 人
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	2 人	見 通 し	1 人
											延べ人数	現 状	100 人	見 通 し	50 人
農政 太郎	46	男	本人	総括 農業全般	○	2,240	総括 農業全般	○	2,000						
農政 花子	49	女	妻	作業補助	○	2,000	作業補助	○	1,400						
農政 一太郎	23	男	長男			0	農業全般	○	2,000						
農政 次郎	21	男	次男	農業全般	○	2,000	農業全般		0						

実人数×雇用日数(2人×50日=100人)

